

第4章 久留里線

上総亀山(10:15)～上総松丘(11:20)～平山(12:05)～久留里(13:00)～俵田(14:20)～
小櫃(おびつ、14:45)～下郡～馬来田(まくた、15:50)～東横田(16:40)～
横田(17:05)～東清川(18:00)～上総清川(18:35)～祇園(19:05)～木更津(19:45)

2003年8月23日(土)に挑戦した第99回のウォーキングは、2,000Km踏破記念となった。本日のコースは、久留里線(上総亀山駅＝木更津駅：32.2Km)である。少なくとも、上総亀山駅から横田駅の22.9Kmを踏破目標で望むことにした。当面の目標である2,000Kmを達成できるからである。本日は、天気予報によると、今年一番の暑さになりそうな一日であった。朝4時50分に起床し、南林間6時5分、新宿7時、千葉8時6分、木更津9時13分で久留里線の終着駅上総亀山を目指す。現地には10時13分到着する。南林間駅から木更津駅の移動時間を利用して、「小さな挑戦」の第3巻の校正作業を行なう。ここ数年年末年始の時間を利用してまとめている。



※上総亀山駅

久留里線は八高線(高麗川駅＝高崎駅)と同様、単線でディーゼル車であった。この車両は3両編成でグリーン系の縞模様の車両だった。木更津駅から小学生を中心とするグループが乗って来る。久留里駅まで賑やかな車内となった。本日も木更津駅から本日挑戦の久留里線を観察する。木更津駅から久留里駅までは田園を走り、久留里駅から上総亀山駅にかけ山間を走る感じであった。

10時15分、上総亀山駅前で記念写真撮影とペットボトル購入後、上総松丘を目指し歩き始める。最初、方向性が分からず、30分程度不安な歩きとなった。というのは、久留里線は電化されておらず、遠目からの目印となる電柱がないため、方向性がつかめなかつたからである。でも、木更津行きのディーゼル車(先程乗車)が通過する警報機

の音で、JR線を道路に沿って確認でき、自分の歩きが正しいのがわかりほっとした。上総亀山駅近郊は山間のため、道に迷うと厄介であるからである。聞こうとしても、通行人がいないこともあった。農道を30分位直進し、国道465号線に出る。名殿の交差点を右折し、国道410号線を歩き、上総松丘駅には11時20分到着。駅前には久留里タクシーの事務所があるのみで、寂しい駅前だった。



※上総松丘駅、上総松丘駅への路

12時5分、平山駅に着く。駅前には、やきそば屋があった。蝉の鳴く山間を通り、上総交通安全守護観音像（12時40分）、久留里神社（12時45分）経由で、城看板が印象的な久留里商店街に辿り着く。商店街を抜けたところに、久留里駅入口の案内板を見つける。駅には13時に着く。この駅は、久留里線で一番賑やかであった。駅前の銘水自家製そば「小春食堂」で休息する。東北高校が3連続2塁打で2点を専攻する場面がテレビ中継されていた。



※平山駅、久留里駅の路守護観音像（上総交通安全）

午後の部は、五つの久留里街道踏切を経由で、木更津駅に向かう。久留里線は、概ねJR線に平行して、久留里街道が走っており歩きやすい。今日は、早いものでトラクタ

一での稲刈りを目にする。第 85 回全国高校野球選手権記念大会の決勝戦を聞きながらのウォーキングとなった。いつのまにか、常総学院が東北を逆転して、3 対 2 となっていた。佐竹さんの名解説での実況だった。試合の方は、4 対 2 で常総学院が全国制覇した。木内幸男監督の勝利談は印象の残る名言だった。「甲子園は最高の教育の場である。」脇村春夫会長の閉会挨拶も今回の大会の特徴を含蓄のある言葉でまとめていたのが印象的だった。今後の人生でのヒントを得たような気がする。乾杯というリクエストもよかつた。



※久留里駅、久留里神社

千葉県立君津青葉高校から少し先の第五久留里街道踏切（13 時 55 分）を越え、J R 線の左側に出る。次は、第四久留里街道踏切（14 時 20 分）を超え、再び J R 線の右側に出る。この近郊に俵田駅があったと思うが、残念ながら見過ごす。小櫃（おびつ）駅には 14 時 45 分到着。この駅は、案内板がありタイムリーに見つけることができた。馬來田（まくた）駅には 15 時 50 分到着。



※俵田駅



※小櫃駅、小櫃駅への路



※下郡駅、馬來田駅



※東横田駅

残念ながら、馬來田駅の前の下郡駅も見逃す。本日、2回目の失敗であった。真里谷（まりやつ）の交差点から左折し、2,000Kmクリア点の横田駅を目指す。第三久留里街道踏切（16時）を越えて、JR線の左側に出る。東横田駅には、16時40分到着する。2,000Km踏破記念となる横田駅には、17時5分到着する。1,000Kmのときは、新横浜駅だった。偶然にも、「横横コンビ」で統一することができた。横田駅前には、

近藤弥三郎翁像や横田耕整理之碑の記念碑があった。西日が強く読むことができなかった。当初の目標はここで打ち止めにしようと思ったが、次回木更津駅までの10Kmを1回の土曜日を潰すのはもったいないと思い挑戦することとする。



※横田駅、東清川駅への路

私の入社（昭和48年）と同時期にできた茶色の（20m中川橋）を渡り、第二久留里街道踏切（17時40分）を超え、木更津駅を目指す。この踏切近郊で、もうすぐ日没で辺りが暗くなることから、木更津駅までの経路をしっかりと頭に入れる。18時のサイレン（カラスのメロディ）を聞くや否や東清川駅を見つける。18時過ぎからはヤクルト＝巨人戦を聞きながらのウォーキングとなる。今日の日没は18時22分とのことである。薄暗い中、18時35分に上総清川駅に着く。



※東清川駅、上総清川駅

18時55分、最後の第一久留里街道踏切を通過する。19時5分、道路に沿ってある祇園駅を見つける。記念写真のシャッターを押す。16号線に出た辺りで念のため、交番に立ち寄り木更津駅（東口）までの道筋を聞く。辺りは暗いので、間違いやすいためである。高橋の3ランで4対4に追いついた場面が実況であった。しかし、木更津駅東口直前でラミレスに振り逃げされ、タイムリーヒットされ再びリードされる場面とな

った。東口では、夏祭りが開催されていた。結局、駅には 19 時 45 分到着。20 時 13 分の電車で、家路に向かう。自宅には 23 時 30 分に到着する。今日も 30Km を走破し、通算 2,000Km 走破記念に花を添えることができた。万歩計は 64,223 歩だった。



※祇園駅、木更津駅